

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		企画業務費 [土曜開庁事業]									
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画費	事業番号	1			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	企画		課		企画担当		係	課長名	荒井 亮二		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	行 - 2			
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現							総合計画書(ページ)	122			
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	市民			市民の数(4月1日現在の住民基本台帳人口)							
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
サービスの向上を図る			①取扱件数 ②収納金額								
→											
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)								
毎週土曜日(祝日及び年末年始を除く)、午前8時30分から正午まで、土曜開庁課において、平日業務の一部の業務を実施している。(開庁課：市民課、保険年金課、課税課、納税課、子育て支援課、保育課) 企画課においては、開庁課との検討会議、実施状況報告及び公式ホームページ等による市民等への周知を行っている。			開庁回数								
→											
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,698	85,337	85,266					
	成果指標	②の数値	①件 ②円	①11,581 ②16,367,613	①11,120 ②15,360,185	①10,141 ②12,910,953					
	目標	②の目標値	%	100	100	100					
	目標値設定の考え方 土曜開庁実施日において、来庁者が必要とする業務が適切に実施されること。										
活動指標	③の数値	日	47	48	43						
3 経費	事業費(実績)		円	4,000	4,000	4,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	4,000	4,000	4,000					
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	時間	0.1	0.1	0.1					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	831,000	838,000					
職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	828,400	835,000	842,000						
4 環境変化等	(1) 開始年度	24 年度									
	(2) 環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年5月～平成24年3月までを試行期間とし、平成24年度より本格実施としている。 土曜日の午前中に一部窓口を開庁することにより、平日に来庁できない市民へのサービス向上を目的としている。 マイナンバーを活用した情報連携やコンビニエンスストア納付等により、取扱件数や収納金額については若干の減少が見られるが、引き続き一定以上の利用実績がある。 令和2年度より、窓口業務の委託を開始し、委託業者職員が土曜開庁に従事するようになった。 									

事業名称	企画業務費 [土曜開庁事業]			
担当部署・課長名	企画	課	企画担当	係 課長名 荒井 亮二

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	・土曜開庁時、土曜開庁を実施していない課への問合せがあった。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：		
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()		
(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)			
	・年2回開催している土曜開庁検討委員会の場で、引き続き開庁課の現状や抱える課題、意見等を聴取し、土曜開庁のあり方について検討していく。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	・「土曜開庁実施状況調書」の様式変更(名称も「土曜開庁実施状況報告書」に変更)等			
(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)				
・引き続き、年2回開催している土曜開庁検討委員会の場で、引き続き開庁課の現状や抱える課題、意見等を聴取し、土曜開庁のあり方について検討していく。				
8	施策貢献状況(この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)			
施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現				
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】 ・土曜開庁業務における取扱業務について、より広く周知するための方法を検討する。また、正午を過ぎての来庁者や閉庁時間間際に来庁し、手続きが時間内に終わらない者に対する対策方法を引き続き検討する必要がある。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
・市報や市公式ホームページ及びSNS等において、土曜開庁業務の内容について周知を図るほか、庁舎管理部門である総務管財課と必要に応じて調整を行う必要がある。				